

めばえ通信

通巻 298号
平成30年1月26日
発行/こども発達センターめばえ

「備えること、予防することを始めましょう」

新しい年が始まりました。みなさんはどんな冬休みを過ごされましたか？子ども達が休み明けに持参してくれた「冬休みのあらわれ」を見ると、年末年始に大掃除を手伝ったり、両親の実家で過ごしたり、大勢の人で賑わう初詣や買い物に出かけたりと、家族で楽しく過ごしたご家庭が多くありました。中には、冬休み中に高熱が出て、残念ながら家族みんなで静養していたご家庭もありました。

年明けから非常に強い寒波がやってきて、ただでさえ風邪をひきやすい状況の中で、世間ではインフルエンザが猛威を振るっています。1月16日付けの「静岡新聞」夕刊の一面でも、流行拡大が取り上げられていました。静岡県内は、昨年12月から継続して、流行に対する「注意報」が出されています。A型が流行している全国と比べ、県内はB型が全体の7割を占めていることも特徴で、インフルエンザの一つの型にかかり、またすぐに違う型にかかる可能性も十分考えられる状況だと言えます。

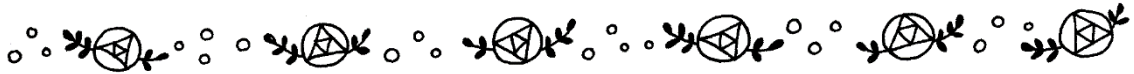
めばえやみなみめばえでは、感染拡大を防ぐため、こまめに手洗いすることを子ども達と一緒に取り組み、普段以上に手指や室内の消毒、加湿に努めてきています。登降園のバス車中には、保護者会で購入していただいた空気中に浮遊するウイルス・菌を除去する除菌剤を早くから設置しています。また、来園する方に注意喚起するため、職員や毎日通園する子どものインフルエンザ(その他にノロウイルス等による流行性胃腸炎等、強い感染力のある病気も含め)にかかった数を玄関に掲示し、入館する際に手指消毒をしていただくよう、消毒液を設置しています。

それでもみなみめばえでは、一度拡散したインフルエンザがなかなか収束せず、ご家族の皆様他関係者にご心配をおかけしました。今後も、継続してウイルス・菌への感染拡大を阻止するよう、備えることに重点を置きつつ、今まで以上に、インフルエンザ情報を適宜配布したり、予防接種の効果を伝えたり、人込みをできるだけ避けるよう喚起したりといった予防的措置にも力を入れていくよう努めていきます。

寒風吹き荒ぶ中でも、春を告げる梅の蕾は膨らみ始め、もうすぐ鶯のヒナは鳴く練習を始めるでしょう。何はともあれ、健康が一番です。元気なみんなと残り2か月思いっきり遊び、日々の生活がより豊かに充足していくよう働きかけていきたいと思います。

こども発達センターみなみめばえ 係長 鈴木紀子

友達っていいな♪



毎年新年を迎えるこの時期になると、このクラスでの生活もあと数か月だなあ、としみじみ感じます。そして4月の頃を思い返し、クラスの子どもの友達への気付きが高まったことを実感します。

めばえの療育は、その子に合った伝え方や身辺処理の仕方等、個々に合った支援を大事にしています。それと同時に、集団(=他者の存在)だからこそ伸びる力も大事にしています。育ちの近い集団で生活することで、他者への興味関心が広がってほしいと願っています。それは、相手に“伝えたい”という思いが、指さしや手を引っ張るサイン、そして言葉の表出につながっていくと同時に、他者へのあこがれや関心が、“真似してみよう”“やってみよう”という新しい行動や力を獲得することにつながると考えるからです。

今年度のぺんぎん組は全員が年少児です。初めて集団生活を経験する子ども達や、新しい環境での生活がスタートした子ども達がありました。4月当初は子ども同士が交わることなく、それぞれの遊びに保育者が寄り添って遊んでいました。(まずは、新しい環境に慣れて、安心できることが大事です。)一人ひとりに寄り添うこと大切にすることで、めばえの生活に慣れてきた5月後半頃から、子ども達の姿が少しずつ変わってきました。

朝の会の呼名でのことです。職員が「〇〇くん」と呼ぶと、顔を隠して“いないよ”とわざと返事をしません。職員もおどけて「あれ～？」と返します。職員が「あれ？〇〇くんいないね。」と言うと、他の子ども達が“ここにいるよ”と指をさしたり、その子を触って教えてくれます。すると、また別の子も顔を隠して職員の反応を期待して待っているのです。(結局、ほぼ全員が顔を隠すので、呼名に朝の会の時間の大半を費やすことになったのですが…笑)職員とその子のやり取りを見て、“楽しそう。真似してみよう”と思ったんでしょうね。

その頃始まった運動会の練習では、一人が椅子を持ってホールに移動すると、他の子ども達も自分の椅子を持って移動するのです。遊びの中で子ども同士の関わりはまだほとんど見られませんでした。子ども達なりに友達のことを意識し、主体的に行動していることに驚きました。(思わず、職員みんなで拍手！)

その頃から、少しずつおもちゃの取り合いやケンカが起こるようになりました。友達の遊んでいるものに興味を持って手を伸ばして取り合いになったり、職員の手伝いを“ぼくがやる”“わたしがやる”と競い合ってやろうとする姿が出てきたのです。

このような取り合いやケンカが起きるようになったことを、私たち職員は嬉しく感じました。それは、友達への興味関心が高まったと同時に、自分の思いを相手に対して思う存分表現できるようになったからだと考えるからです。また、自分の思いと相手の思いがぶつかることで、自分とは別の、他者にも思いがある事を知り、折り合いをつけたり、一緒に遊ぶ楽しさを経験する絶好のチャンスだと思うからです。順番や交代のルールを学ぶことができます。この経験は自分一人ではできないことです。

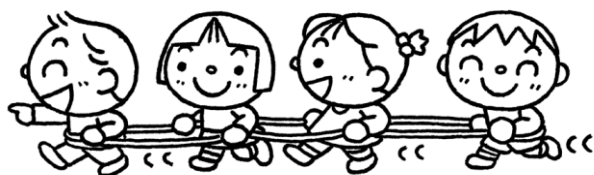
友達への興味関心は、生活の様々な場面で子ども達の“真似してやってみよう”“できた”を引き出してくれました。たとえば、ホール活動で上靴を脱いだ時、職員が脱いだ靴下を上靴につめ、壁際に並べて置きます。それを見た子どもが真似して並べて置く。すると、他の子どもも自然と並べて置くのです。自分の物を管理するというのを、友達の真似をして自然と身に付けました。

また、Aくんは粘土などべたべたしたものが苦手でした。活動の時にはほんの少し道具で触るものの、手に付くことが嫌で遊びこもうとはしませんでした。けれども、Aくんは以前から感触あそびの好きなBくんのやることに興味を持っていました。ある時、Bくんが粘土を荷物に見立てて、おもちゃの車に載せていました。それを見たAくんは、自分から粘土を持ち、ちぎって丸め、Bくんの真似をして粘土をおもちゃの車に載せたのです。友達へのあこがれの気持ちが、苦手な気持ちを上回った瞬間でした。あれほど職員が誘っても触らなかったのに…友達の存在ってすごい！と改めて感じた瞬間でした。

4月当初はそれぞれが個々に遊んでいたぺんぎん組の子ども達でしたが、今では友達と一緒に同じおもちゃで遊んだり、職員と一緒にみんなで「うんとこしょ、どっこいしょ」と引っ張りっこをしたり、滑り台に全員集まって(!)滑ったり、友達の世話を焼いたり(もちろんケンカもあるけれど)…自分の気持ちを思う存分表現しながら、友達との関係をますます深めています。

この集団での生活も残り数か月。毎日の生活の中で、“友達っていいな”と思える瞬間を子ども達がたくさん感じ、身辺処理面への意欲、新しい世界への挑戦、友達とのやりとりの経験に繋げていきたいと思います。そして、子ども達の成長を、保護者の皆様と一緒に見守り、喜び合いたいと願っています。今年もよろしくお願ひします。

みなみめばえ 高柳阿季





2月の予定

2月		バス	心理
1	木	☆保育参加日「節分会・文集作り」13時降園 ☆袋井特別支援学校見学会（年中）	×
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		
6	火		
7	水		
8	木	☆H29 年度入園説明会 (PM) 13時降園	○
9	金		
10	土		
11	日	<建国記念日>	
12	月	<振替休日>	
13	火		
14	水		
15	木	13時降園	○
16	金		
17	土		
18	日		
19	月	☆個別面談 ～3/9(金)まで ・実習生：静岡英和学院大学2名（～3/6）	
20	火		
21	水	☆掛川特別支援学校見学会（年中・小）	
22	木	☆保育参加日「誕生会」 13時降園	×
23	金	☆めばえ通信発行	
24	土		
25	日		
26	月		
27	火	▼	
28	水		

お知らせ

☆今月の保育参加日

1日（木）節分会・文集作り
22日（木）誕生会

☆ 1日（木）節分会

めばえにも鬼がやってきます！
短冊に書いた悪い鬼を「鬼はそと～福はうち～」とみんなで退治しようね。

☆ 1日（木）袋井特別支援学校見学会

森町、旧大須賀地区にお住まいの年中保護者が対象となります。
内容等は配布資料をご確認ください。

☆ 21日（水）掛川特別支援学校見学会

掛川市（旧大須賀地区以外）、菊川市、御前崎市にお住まいの年少中保護者が対象となります。内容等は配布資料をご確認ください。

☆ 19日（月）～ 個別面談週間

今年度最後の面談が始まります。
各クラスから配布された面談日程を確認して、担当と一年の振り返りをしますので、よろしくお願ひします。

バス停変更のお知らせ

徳育保健センター→生涯学習センター

- ・ 2日（金） 朝・帰り両方
- ・ 20日（火） 帰りのみ

3月の予定

- 1日（木）～9日（金） 個別面談週間
- 1日（木） 保育参加日
「クラス懇談（そら・たま・にん）」
- 8日（木） 保育参加日
「誕生会」「クラス懇談（びい・じゃが）」
- 19日（月）～23日（金） 短縮日課
- 26日（月） 卒園式・めばえ通信発行

めばえ日記

☆クリスマス会が行われました☆

12月22日(金)にクリスマス会が行われました。今年も職員によるトーンチャイムの演奏から始まったクリスマス会。今年は、『やなぎ文庫』さんによる音楽会。クイズや、見たことがない楽器の音色に触れ、ワクワクした子ども達の様子でした。

今年も、掛川市役所の家庭児童相談員の方がサンタクロースになって、子ども達に素敵なプレゼントを配ってくれました。サンタさんに名前を呼ばれ、ドキドキ顔の子ども達でしたが、プレゼントをもらいちょっぴりほっとしながらニコニコ御家族の所へ戻る姿がかわいかったですね。

今年も、もう一人サンタさんが登場し、ビックなサプライズもあり、とても楽しいクリスマス会となりました。御参加ありがとうございました。



☆本年もよろしくお祈りします☆

2018年がスタートし、めばえでも1月5日から療育が始まりました。冬休みは大きな事故もなく、冬休みの表れでは、大掃除の手伝いや、餅つき、初詣、この時期ならではの経験をし、どの御家庭も楽しかった内容がたくさんでしたね。本年度も残りわずかとなりますが、楽しい活動を通して、子ども達の笑顔を引き出していきたいと思っております。よろしくお祈りします。

お知らせ

12月末でたまねぎ組の平岩千里が退職し、1月より小川和美が新たに勤務します。宜しくお祈りします。

《2月のおもちゃ図書館》

掛川キューピーおもちゃ図書館
総合福祉センター3Fで開催
連絡先: 0537-22-1309
2月18日(日)

菊川おもちゃ図書館あそぼ
プラザけやきで開催
連絡先: 0537-37-1135
2月10日(土)

こども発達センターめばえ

〒436-0016 静岡県掛川市板沢 1941-35

TEL) 0537-23-2312 または 0537-61-7090

FAX) 0537-23-0008

E-MAIL) htc.kodomo40@globe.ocn.ne.jp

